



## 会誌広報委員会（委員数 28名／担当：鹿嶋理事）の活動①

◆ ミッション：機関誌「知財管理」と広報誌「季刊じぱ」の編集

◆ 知財管理

◎ 年12回分の企画編集、全ての原稿の査読

- 2020年度の掲載記事数：135本（企画75、委員会51、投稿9）

→ 掲載不可分も含めれば、**約150本の原稿査読は大きな負担**

◎ 企画原稿（立案約90件 →掲載75本）

- 知財業務で直面する課題や最新トピックスに関するテーマを、各委員が自由に立案
- 特に年1回の特集号（来年から10月発行）は、メインテーマ選定から、10本以上の全論説について、企画立案～執筆依頼調整～原稿完成まで、1年以上かけ委員会全体で取組む

→ 業務の課題解決や最新の情報取得に加え、著名な学者・弁護士・弁理士など執筆者との人脈形成等、**委員会参加（委員派遣）の意義・メリットも大きい、活動の核**

◎ 専門委員会原稿（掲載51本）

- 企業目線での各委員会の研究成果として、特許庁や裁判官などから高評価の記事も多く、知財関連の他誌との差別化という点で非常に重要なコンテンツ

→ 研究・記載内容には原則踏み込むべきでないため、**当委員会としての関与が中途半端**





## 会誌広報委員会の活動②

### ◆ 季刊じば (2017年4月創刊)

– 年4回分の企画・編集

- 理事、PJリーダー、業種担当役員などの皆様には、引き続きご協力をお願いします

→ JIPAとしての方針・意向次第の事柄も多く、事務局との役割分担・連携のあり方模索

2021年の  
掲載記事



Please  
look forward  
to it !

記事	2021年冬号	2021年春号	2021年夏号	2021年秋号
Special Interview/ 理事's eye	糟谷特許庁長官 (長澤副会長)	田村善之 東大教授 (鹿嶋常務理事)	佐野副理事長	別宮理事長
わが社のこだわり	デンソー	三菱ケミカル	パナソニック	(JIPA環境シンポ)
ZOOM UP	人材育成委員会	次世代コンテンツ政策PJ	関東金属機械部会	関西化学部会
JIPA通信	JIPAシンポジウム	知財管理 特集号	新PJの紹介	オンライン知財英語研修



～世界から期待され、世界をリードするJIPA～

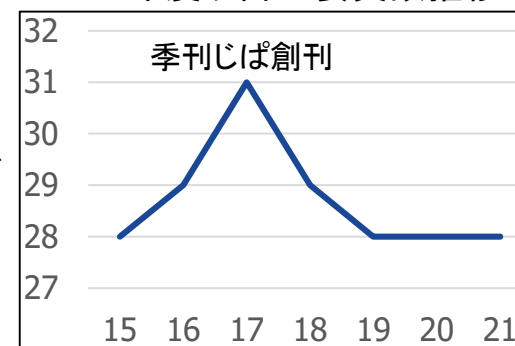


## 会誌広報委員会の活動③

### ◆ 課題

- 処理必要な一定業務量（人数が減れば負担増）
  - 40名体制を目標に、事務局から毎年100社以上への声掛け、派遣特典増強などに取組んできたが、人数維持が精一杯
  - 季刊じば追加によって業務量は約2割アップしたところ、かなりの工数を負担していたベテラン委員が全て退任
- 両誌の質、委員のやりがい向上には、より「企画」への注力が必要
- NN時代の委員会活動・運営のあり方見直し

2015年度以降の委員数推移



### ◆ 2021年度の実施：「持続可能」な委員会活動への改革

- 委員会運営の改善・見直し（20年度後半より）
  - 全ては「企画」の検討議論に注力するため
- 特集号の時期変更（4月号 → 2022年より10月号）
  - 秋以降に特集号の「繁忙期」をシフト
- 専門委員会原稿への関与
  - 各専門委員会で完結する姿に向け、「査読」に関するノウハウ提供等から実施
  - 最終的には「別冊資料」同様に、当委員会には「原稿」には基本的に関与しない

